

法務大臣感謝状伝達式

4月26日、4月1日付で人権擁護委員を退任した井口誠一さん（小坂）に法務大臣から感謝状が伝達されました。井口さんは、町の人権擁護委員として、5期15年間、熊本人権擁護委員協議会会長としても5年間務めました。人権擁護活動では、子どもたちに紙芝居を使った人権教室などをし、人権の大切さを伝えてきました。人権について井口さんは「一人一人違って、みんな良いところがある。自信をもってほしい。これから地域では、今まで培ってきたものを活かし、悩んでいる人たちの架け橋になれば」と話しました。



伝達された井口誠一さん（左から2番目）

熊本地震の記憶を本に

グリーンヒルみふねの吉本洋施設長が熊本地震で起きた施設内での出来事などをまとめた本を出版されました。発災直後からの出来事が記されている1巻目、2巻目ではボランティアばかりに頼らず、平成28年の6月1日を“復興宣言の日”と呼び、復旧から復興へと歩み出します。そして、3巻目では“未災地へのメッセージ”といった3部作完結となっています。吉本施設長は「災害はいつどこで起こるか分からない。（この本を通して）まだ災害が起こっていない“未災地”の方々に見て、知ってもらいたい」と熱く話しました。



記憶を記録し、後世へ

農家の思いを！アイス「デトレタ」完成

御船町の若手農家を中心となり、2年の歳月をかけたアイスクリーム“DETLETA-デトレタ”が完成しました。この商品の名前の由来は、御船“でとれた”素材を活かすところからきたもの。味は、ミルク・いちご・ほうじ茶・ばってん甘柿の4種類。ばってん甘柿を生産している川部裕志さん（上野）は「やっと完成しました。このアイスをきっかけに、その素材の良さ、生産農家の人たちを知ってもらえれば」と話しました。売上の一部は復興のため、御船町に寄付されます。



1_ アイスクリームを持って「デトレタ」をPRする川部裕志さん
2_ 4種類のデトレタ。生産者の自慢の一品！恐竜博物館横観光交流センター内で、田、回、祝日のみ販売しています。

ゴルフで郷土へ愛情を注ぐ

北九州市の若松ゴルフ倶楽部で、(株)ダック技建（徳永明彦代表）と北村晴男弁護士の主催による「第3回熊本復興支援プロアマチャリティゴルフ大会」が開催されました。今回で3回目となったこのチャリティイベントでは、趣旨に賛同した九州を拠点とするプロら35人と他関係者ら105人が参加し、プロの賞金の一部が町へ贈られました。藤木正幸町長は「本当にありがたい。これからも町民と共に前を向いて頑張っていきます」と力強く話しました。



左から北村晴男弁護士、藤木町長、徳永明彦代表

林田能寛祭～偉大な先哲の遺徳をしのぶ

林田能寛祭が4月4日、上野地区の八勢目鑑橋で開かれ、地域住民など約30人が参加しました。林田能寛は、私財を投じて1855（安政2）年3月に八勢目鑑橋を完成させた御船の五人の先哲の一人。今回が33回目となり、神事では明尊寺の嶋村坊守が読経を上げ、地域の代表などが焼香をすませ、能寛の遺徳をしのびました。その偉業を語り継ぐことを目的としている林田能寛顕彰会・竹内昭剛会長は、「林田能寛さんの偉業をたくさんの人に知ってもらい、顕彰会も盛り上げていけたら」と話しました。



八勢目鑑橋で神事が行われている様子

水の鼓動の新酒祭り

4月5日、御船の酒「水の鼓動」の新酒祭りが街なかギャラリーで開催されました。この祭りでは、限定でろ過せずに火入れしない“無濾過生原酒”が販売されました。お酒のつまみには、観光協会のケータリングチームにより日本酒に合った食べ物で水の鼓動を楽しみました。初めて参加した奥村亮祐さんは「新酒なのでめったに飲めない。飲んでみてとても飲みやすい」と笑顔で話しました。最後は、昨年に引き続き、割ぼう着姿のガールズバンド“V-zone”のライブで会場の雰囲気は最高潮に達しました。



美味しいおつまみと美味しいお酒で



町営住宅団地前でテープカット

災害公営住宅第2号！町営住宅一丁目第2団地

4月19日、災害公営住宅となる御船町営住宅一丁目第2団地（御船）の入居者への鍵渡し式が行われました。青空の下、共同住宅の2階建て20戸が立ち並び、住宅の中庭には芝生や花壇が広がる交流の場でテープカットが行われました。門扉には、御船高校書道部が書いた団地の名前が入った名板を設置。代表で鍵を受け取った宮村允洋さんは、「バリアフリーがされていて高齢者に優しいつくりになっている。これからは、地域の人たちとさまざまな行事を通して交流したい」と話しました。

愛情込めて育てた花を子どもたちに

4月23日、JAかみましき女性部御船支部野菜育苗部会（山下敬子会長・11人）からマリーゴールドやサルビアなどの花の苗2,304本、トマトやニガウリなどの野菜の苗448本が町内の小学校等に贈呈されました。今回の贈呈が21回目となり、同部会で花や野菜の苗を育てていたハウスを解体するため、これが最後の贈呈となります。山下会長は「（解体することで）花を渡せなくなるのが残念です。今が一番きれいな時期。子どもたちの心が少しでも和むなら」と話しました。



花いっぱい！笑顔いっぱい！！